

人類の未来のために、あなたができること...

農林水産省策定
「みどり戦略」
実現を目指して
6名の専門家が
熱いトークを繰り広げる

知ることから、始めてみませんか？

食・環境・農薬

沈黙の春 61 年後の現実

トークセッション in 飛騨高山

まずは、知ることから始めませんか？

食、環境、農薬・・・。

2050 年までに農薬を半分にするという方針が農水省から出されました。さて、どのように進めるのでしょうか？

地球には過去に 5 回の大量絶滅期があったようです。

産業革命以降、人類は地球を蝕んできて、今ようやくその危機が目に見えるようになってきました。

例えば虫。毎年、世界で 1% ずつ数が減っていると報告されています。環境変化と農薬の影響が大きいと思います。

これって、大量絶滅期そのものではないかと危惧しています。

農薬は虫の減少のみならず、食べ物の汚染にもつながっています。アトピー、発達障害など何とかしないと「未来が危ない」状態です。

今、行動すれば、ひょっとしたら明るい未来にたどり着けるかもしれません。

農薬を告発した「沈黙の春」から 61 年。

トークセッションを中心に、歌あり、クイズあり、お土産ありの企画にあなたも知り合いを誘ってご参加ください。

開 場
13:00
7月8日(土)

【開 演】13:30 【閉 演】15:45

高山市民文化会館

▶詳細地図裏面

問い合わせ先●TEL0576-74-1191(運営事務局(株龍の瞳))

参加
無料

誰でも参加できます
裏面から申込ください



龍の瞳 1kg
プレゼント
(小学5年以上全員)

400名限定



スマホから

申込み・詳細は
裏面を御覧は
ください

前 半	13:30	開演・挨拶	後 半	14:50	パネルディスカッション
	13:35	トークセッション		15:30	クイズ
	14:20	歌(沈黙の春No.2)		15:45	まとめ・閉演
	14:35	休憩		※プログラム変更の場合がございます	

後援

高山市・下呂市・飛騨市・白川村

昨年稲沢市で大反響を呼んだ第2弾！今年は、飛騨高山に各分野のエキスパート・専門家が集い、現代日本を取り巻く「食・環境・農業」の現状と課題について、熱く、深く、鋭く語り合う1日！ぜひお聴き逃しなく。



江崎 禎英 えさき よしひで

社会政策課題研究所 所長

●1964年岐阜県山県市（現）生まれ。東京大学卒業後、通商産業省入省。大蔵省、内閣官房、岐阜県庁、経済産業省などを歴任後、内閣府大臣官房審議官を最後に退任。岐阜県知事選挙に出馬。現在は、社会政策課題研究所所長として諸問題の解決に県下を回って勢力的に取り組んでいる。藤田医科大学教授



おおしま ゆかこ

給食ネットワーク岐阜 下呂支部代表

●1982年生まれ。下呂市出身・在住。2021年春頃からコロナ禍の感染対策に疑問を感じ、市民活動を始め。みんなの笑顔を守る会の広報、下呂市保護者有志一同の代表、ライオンの隠れ家の広報のほか、アーティスト・ボイストレーナーとして活動中。



益田 大輔 ますだ だいすけ

須田病院 精神科医長 / 社会復帰研究会 副会長

●1974年、福岡県で生まれる。愛媛大学医学部卒業後、岐阜大学病院精神科に勤務。2001年から高山赤十字病院心療内科、2005年から特定医療法人人生会須田病院にて勤務し食べ物と精神の関連について研究。現在、高山市議会議員でもある。



山田 貴文 やまだ たかふみ

養蜂家

●1978年岐阜県生まれ。26歳頃、趣味で養蜂を開始し養蜂の魅力の虜になる。その後、養蜂家として起業。蜂蜜を絞りたい方に蜜蜂を届ける【種蜂屋】として蜜蜂の育成及び販売を行っている。ミツバチがネオニコチノイドによる大きな被害に遭い、解決する中で農業の負の部分を実感し啓蒙活動に取り組んでいる。



与嶋 靖智 よしま やすのり

飛騨高山よしま農園 代表

●1974年高山市でサラリーマンの父で兼業農家の長男として生まれる。情熱ある祖父（故）の自然農法に取り組む姿を見ながら成長したのが農業への原動力。九州東海大学農学部卒業後、「農業は理論よりも現場の実践が第一」と考え就農、現在、飛騨高山よしま農園経営。農業改良普及員資格、学芸員資格等々取得。



今井 隆 いまい たかし 司会

株式会社龍の瞳 代表取締役

●1955年下呂市生まれ。農林水産省に入省し、統計情報業務を遂行。44歳で「龍の瞳」原種を発見し、51歳で退職、起業する。安全で美味しい米づくりを追求して、米コンテストで龍の瞳生産者が多数賞歴している。現在、地域の活性化のために行動を起こしている。お酒の雑誌「たる」、お米の業界紙「商経アドバイス」に執筆中。

知ることから始めてみませんか？ 食・環境・農業 沈黙の春61年後の現実トークセッションin飛騨高山

2023年 **7月8日** 土曜日 開場 13:00
13:30~15:45

参加無料 小学5年生以上で最後まで参加された方
全員に龍の瞳 1kg 贈呈（上限 400名）

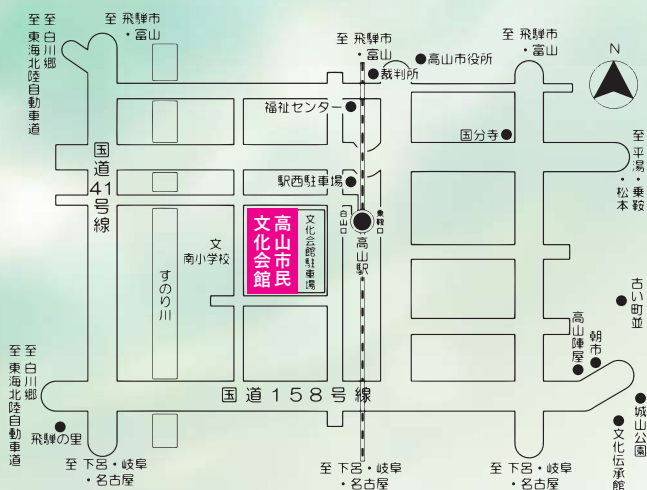
高山市民文化会館小ホール

〒506-0053 岐阜県高山市昭和町1丁目188-1 駐車場有り

自動車 JR 高山駅より車で1分 / 高山 IC より車で20分

J R JR 高山線・高山駅 白山口（西口）より徒歩3分

問い合わせ先 ●TEL 0576-74-1191（運営事務局 株龍の瞳）



スマートフォンのQRコード読み取りでアクセスください。▶

▶ **かんたんスマホ申込**



パソコンでのお申込みは、龍の瞳公式ホームページから <https://www.ryunohitomi.co.jp/>

▼ **FAX お申込み用紙 FAX0576-54-1836**

知ることから始めてみませんか？ 食・環境・農業 沈黙の春61年後の現実トークセッションin飛騨高山 FAXお申込み票

お名前(代表者)	所属団体(任意)	メールアドレス(任意) ※お知らせや連絡に使用しますのでお書きください
参加人数(代表者含む)	電話番号(任意)/FAX番号	ご住所(任意)
名		